Local Insight, Global Impact

第３回環境モニタリング委員会報告概要

2026年8月20日（木）

13：00～16：30

環境モニタリング委員会設置目的と活動内容

【設置目的】
石原産業株式会社 四日市工場の土壌・地下水汚染対策として環境専門委員会を通して実施した施策について、引き続き当委員会でモニタリングしフォローアップする。

【活動内容】
1.工場の土壌汚染・地下水汚染対策の効果の検証
2.土壌・地下水汚染に対する追加対策に関する指導、助言

【委員構成】
・大東所長（大東地盤環境研究所　所長）
・片山教授（名古屋大学　特任教授）

Internal Use only　© ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD. All rights reserved.

体制の見直し

環境専門委員会（公開）

1. 概ね年1回開催
2. 委員
   大東特任教授
   坂部先生
3. 公開（個人情報等の一部を除く）
   ホームページ
   （ISKホームページにリンク）
   南部協※でご説明
   塩浜連合自治会にご説明



環境モニタリング委員会
（非公開）

1. 概ね年1回年開催
2. 委員
   大東所長
   片山教授
3. 公開
（＊個人情報等及び相談事項等を除く）
   ホームページ
   （ISKホームページにリンク）
   南部協※でご説明
   塩浜連合自治会にご説明

※南部工業地域環境安全協議会

Internal Use only © ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD. All rights reserved.

環境モニタリング委員会設置目的と活動内容

【設置目的】
石原産業株式会社 四日市工場の土壌・地下水汚染対策として環境専門委員会を通して実施した施策について、引き続き当委員会でモニタリングしフォローアップする。

【活動内容】
1.工場の土壌汚染・地下水汚染対策の効果の検証
2.土壌・地下水汚染に対する追加対策に関する指導、助言

【委員構成】
・大東所長（大東地盤環境研究所　所長）
・片山教授（名古屋大学　特任教授）

Internal Use only　© ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD. All rights reserved.

本日の概要

1. 工場見学
2. 大東委員長、片山委員挨拶
3. 大東委員長　開催宣言
4. 敷地全域地下水モニタリング調査結果　資料1
   ひ素の化学形態調査結果　資料6
5. 北西域及び南東域揚水に関する進捗報告
   - ・北西域 揚水に関する進捗報告　資料2-1
   - ・南東域 揚水に関する進捗報告　資料2-2
   - ・西域 揚水に関する進捗報告　資料3
   - ・BS工場第0帯水層地下水モニタリング調査結果　資料4
   - ・BS宙水処理設備の稼働状況　資料5
6. 工場内の土地形質変更等の状況について　資料7
7. 質疑応答
8. 工場長より
9. 大東委員長　閉会宣言

Internal Use only　© ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD. All rights reserved.

対策項目と現状

		対策項目	アクション内容		
			2008～2024年度	2025年度	2026年度
調査	全域	地下水モニタリング	2009年全域調査終了 年4回モニタリング実施 （6,9,12,3月）	継続実施中	継続実施中
地下水汚染対策	北西域及び西域（重金属）	バリア井戸（第1帯水層）	2013年より全16基で揚水開始 2016年1基追加、17基で連続運転。 2024年度に西域バリア井戸 5井設置	連続運転中	連続運転中
	南東域（VOC）	バリア井戸（第1帯水層）	3基のバリア井戸を掘削 2016年VOC処理設備完成、以降連続運転。	連続運転中	連続運転中
		揚水処理（宙水）	2011年より揚水とVOC処理開始 以降、連続運転。	連続運転中	連続運転中
土壌汚染対策	北西域	パイロット不溶化試験	パイロット試験実施、効果確認 不溶化スラリー注入試験実施	電解工場周辺で本工事を昨年実施（効果確認中）	効果確認中止（12月硫酸法停止のため）
	全域	裸地舗装	2024年度までに25,508m^{2}を舗装した。	466㎡実施	1,660 ㎡実施
会議		環境専門委員会	第1回～22回（2023年3月） +拡大分科会3回 （20年度,21年度,22年度） 第1回環境モニタリング委員会 （2024年8月２１日）	第2回環境モニタリング委員会 （2025年8月19日）	第3回環境モニタリング委員会 （2026年8月20日）

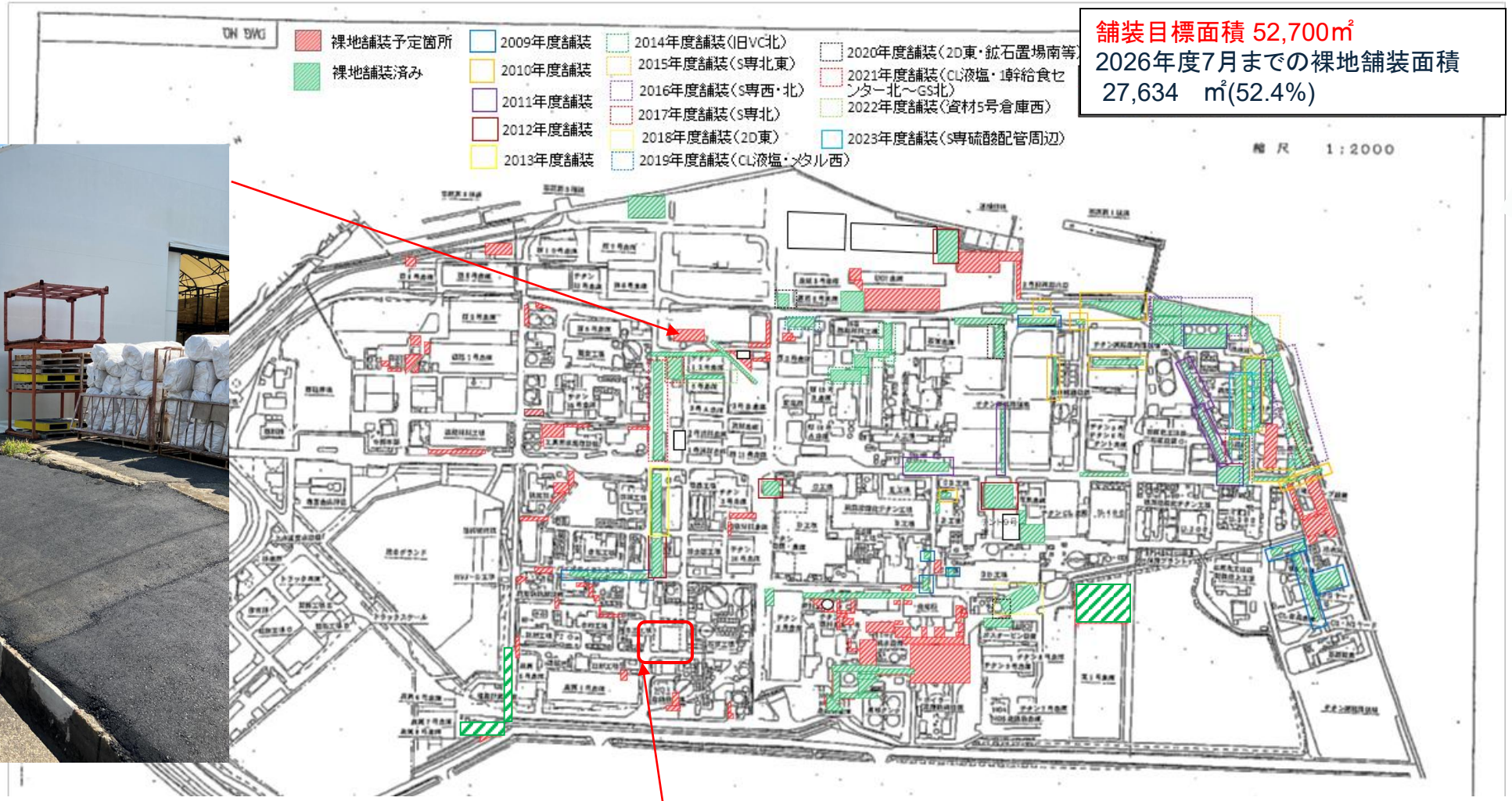
※VOC：揮発性の有機物

裸地舗装実施状況

2026年度実施

約200㎡





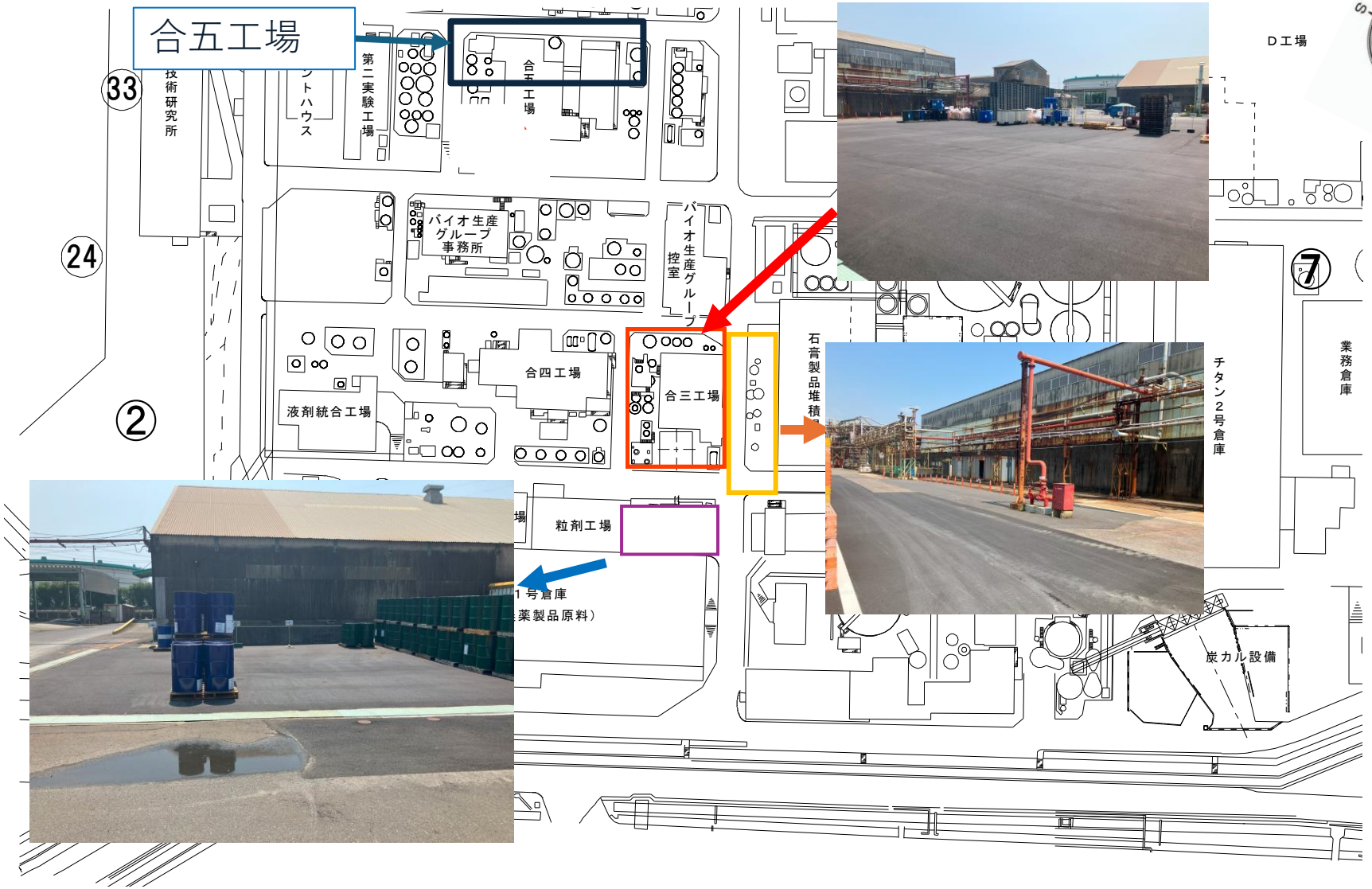
舗装目標面積 52,700㎡
2026年度7月までの裸地舗装面積
27,634 ㎡(52.4%)

2026年度実施

約1,460㎡

2.合三工場周辺にについて（工事完了）

合三工場については、当面裸地舗装



対策項目と現状

		対策項目	アクション内容		
			2008～2024年度	2025年度	2026年度
調査	全域	地下水モニタリング	2009年全域調査終了 年4回モニタリング実施 （6,9,12,3月）	継続実施中	継続実施中
地下水汚染対策	北西域及び西域（重金属）	バリア井戸（第1帯水層）	2013年より全16基で揚水開始 2016年1基追加、17基で連続運転。 2024年度に西域バリア井戸 5井設置	連続運転中	連続運転中
	南東域（VOC）	バリア井戸（第1帯水層）	3基のバリア井戸を掘削 2016年VOC処理設備完成、以降連続運転。	連続運転中	連続運転中
		揚水処理（宙水）	2011年より揚水とVOC処理開始 以降、連続運転。	連続運転中	連続運転中
土壌汚染対策	北西域	パイロット不溶化試験	パイロット試験実施、効果確認 不溶化スラリー注入試験実施	電解工場周辺で本工事を昨年実施（効果確認中）	効果確認中止（12月硫酸法停止のため）
	全域	裸地舗装	2024年度までに25,508m^{2}を舗装した。	466m^{2}実施	1,660 m^{2}実施
会議		環境専門委員会	第1回～22回（2023年3月） +拡大分科会3回 （20年度,21年度,22年度） 第1回環境モニタリング委員会 （2024年8月２１日）	第2回環境モニタリング委員会 （2025年8月19日）	第3回環境モニタリング委員会 （2026年8月20日）

※VOC：揮発性の有機物

北西域　パイロット不溶化試験検討中止について

東証プライム上場の化学メーカー

「石原産業」は、2027年3月末をもって四日市工場の硫酸法酸化チタンプラントを停止すると発表

硫酸法酸化チタンプラントの停止により副産物として製造していた
フィックスオール等が今後、製造できなくなることから不溶化試験の
継続を中止

Internal Use only　© ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD. All rights reserved.



Local Insight, Global Impact

Internal Use only © ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD. All rights reserved.